

中学校 第1学年 国語科 学習指導案

埼玉県さいたま市立与野西中学校
教諭 豊福 九十九

単元名 『桜蝶』(4時間)

単元のねらい

- 行動や心情を表す言葉を文脈に注意して読む。
- 文学作品の構成や展開、人物の関係を描写から捉える。

本時のねらい 『桜蝶』Bを読み、描写をもとに登場人物の心情の変化や関係を捉える。(第3時)

指導時期 4月上旬

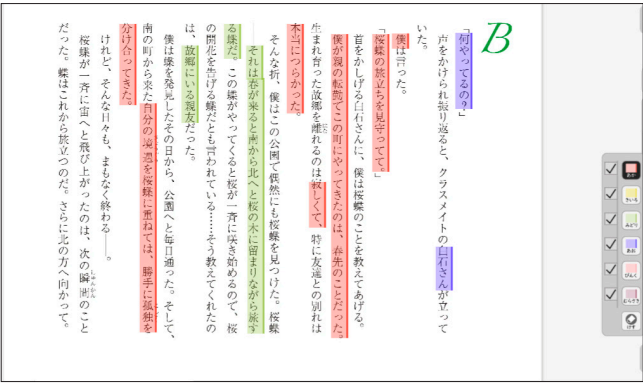
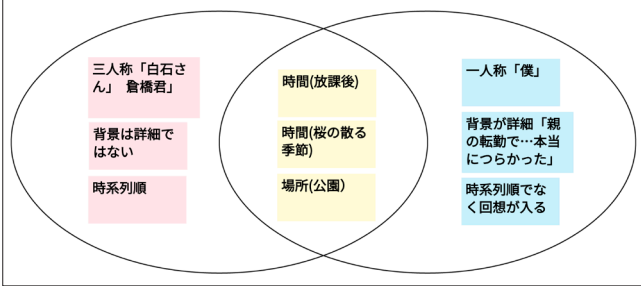
指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

本単元では、『桜蝶』AとBの比較が重要なポイントである。比較にあたっては、登場人物の言動や心情の変化を的確に捉えていくことが必要不可欠となる。その際、「国語マーカー」を用いた色分けを行うとすばやく視覚的に把握することができる。このことで、紙の教科書で指導していた際に比べ、「指導者用デジタル教科書(教材)」ではページ数や行数を何度も確認する場面が減った。

また、「指導者用デジタル教科書(教材)」にはさまざまな機能があることも魅力であると感じる。「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用したことで得られた効果」で紹介している機能以外に、例えば思考ツールには豊富な種類のフォーマットが準備されている。今回はベン図を用いて授業を行ったが、他にも「クラゲチャート」「バタフライチャート」など27種類もの思考ツールがそろっている。授業に応じて思考ツールを選択し、生徒の深い学びにつなげることができる。さらに、授業で使用した思考ツールを印刷し、掲示することで、他のクラスの生徒との比較や新たな発見につなげることができる。

本時(第3時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 	 <p>The screenshot shows the 'Teacher Edition' interface. On the left is a book cover titled '指導者用 伝え合おう! 中学国語 1'. On the right are navigation buttons: '最初のページを開く' (Open first page), '目次を開く' (Open table of contents), '前の続きを開く' (Open previous page), 'おわる' (End), and '本たへ戻る' (Return to main page). There is also a search bar and a settings icon at the bottom right.</p>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 前時の振り返りを行う。前時では、「視点」という観点でAを読んだので、これを確認する。そして、本時では視点の違いによる描写の違いについてBを読み、登場人物の心情の変化や関係を捉えるという見通しをもたせる。 	
<p>Bを読み、描写をもとに、登場人物の心情の変化や関係を捉えよう。</p>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 『桜蝶』Bを読み、描写をもとに登場人物の心情の変化や関係を捉える。 T：「僕」の心情はどのように変化していますか。 S：回想の場面では、友達との別れに「寂しく」「つらかった」と書いてあります。そこから「別れ」は、否定的なものとして認識していると思います。 S：現在の場面では「別れは終わりなんかじゃない。始まりなんだよ——。」という友達の発言を思い出しています。そこから別れは肯定的なものになっていったと思います。 <ul style="list-style-type: none"> ● 視点の違いによる描写の違いについて「思考ツール〔ベン図〕」にまとめ、Bを例にあげながら説明する。 T：Bを読んで、Bはどのように書かれている文章だと思いましたか。Bから表記を引用して教えてください。 S：「僕」という登場人物がいます。Aでは「倉橋君」という三人称でしたが、「僕」という一人称の名前に変化していました。そのことから、Bは一人称の視点で描かれているので登場人物の心情の変化が詳しく描かれていると思いました。 S：「僕が親の転勤で……本当につらかった。」と書いてある部分を引用しました。「僕」がこの町に来てまだ日が浅いことなど、Bは登場人物の背景が細かく描かれている文章だと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文拡大画面に、国語マーカーを用いて、登場人物の発言や心情を視覚的に確認する。 僕（倉橋君）：赤、白石さん：青 その他の登場人物：緑 ● 「僕」の心情に注目する場合は、赤のマーカーのみを選択すると、さらに視覚的に確認しやすくなる。  <ul style="list-style-type: none"> ● 「思考ツール〔ベン図〕」を活用する。 ● Bの特徴を右側にまとめていく。 ● カードの色分けや文字サイズの変更も行うことができる。 ● 赤のカード（Aの特徴）と黄のカード（A・Bの共通点）は事前に行ったものを用いる。「ファイルで保存」したものを再利用することができる。 
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時での読みを初読と比べ、本時で学んだことを振り返る。 	

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

「本文拡大」「国語マーカー」

紙の教科書でこの授業を行う場合、ページ数や行数、色の種類など確認することは多くあり、指示が複雑で混乱する生徒もいることが予想される。しかし、この二つの機能を使うことで、ひとめで今行っていることに注目し授業の取り組みに参加しやすくなる。「国語マーカー」は、文学的な文章における登場人物ごとの色分けだけでなく、説明的な文章では、筆者の考えと、筆者の考えと対になる文章を色分けすることなどにも応用することができる。

「思考ツール」

今回はAとBを比較するために「ベン図」を用いた。AとBの共通点・相違点を整理していくことで、それぞれの特徴を具体的に理解することができる。操作する上での留意点は、「思考ツール」が「ファイルで保存」と「画像で保存」のどちらもできるということである。「ファイルで保存」を選択することによって、次の授業では続きから行ったり、他学級で活用したりすることが可能となる。また、「画像で保存」を選択することで、廊下等に掲示したり、国語通信として資料を貼り付けたりすることで、さまざまな意見に触れ、考えを深めることができる。